

# 第208回 小布施掃除に学ぶ感謝の会 in 小布施町立栗ガ丘小学校

2022年6月11日(土) 普通教室棟 一階 東側 女子トイレ

＃「何かが違う」「立ち位置」「安心」「トイレに応じる」「場の提供」「続ける」

「何かが違う」

日台教頭先生 今日も床がとてもきれいになりました。私は毎日校内を回っているのですが汚れていて気になります。気になれば自分でやればいいんですけど、自分でやってもきれいになつた気がしないのです。やり方が悪いのか、気持ちが悪くないのか、みなさんがいらつしやらないのか……。今日やってみるときれいに感じるので、何が違うのかなと思っていました。きれいにしないと嫌になってしまうのですが、みなさんと一緒にいて工夫しながら掃除をするときれいになったなと思います。何かが違うというところを見極めたいと思います。



「立ち位置」

牛山 掃除リーダーを任せましたが、今回も完璧なリーダーとはなれませんでした。それは、ウォシュレットのノズルや目地の汚れなど、私気がつかなかつた汚れをみなさんから指摘されたからです。ところが、そのおかげで教頭先生から教わつたことのある「協働学習」のポイントにつながりました。それは新しい学び方である協働学習は「授業者の立ち位置」が大事ということでした。なので、みなさんに教わりながら一緒に掃除に学ぼうと思いました。かといって、ハッキリした目標を持たないとバラバラになると思うので注意が必要だと思いました。

「安心」

倉田先生 4月5月は余裕がなくて来られませんでした。でも、掃除に学ぶ会の活動報告を読む度に遠方の宮之本さんが心を整えにいらっしゃることを知って何とか早めに行きたいと思っていました。今日は来られてよかったです。新しいトイレはだいぶ変わっていて昔の方が良かったと思ってしまふけれど、時代に合わせていくしかない寂しさも感じました。でも、いつもの3名(木下・宮之本・牛山)は必ずいらっしゃるので安心できました。

「トイレに応じる」「場の提供」

宮之本さん

5月に便教会総会があり、愛知県豊田市の高校で掃除をしました。その床は湿式で水を撒けましたが、ここは乾式なので水をまけず、掃除のやり方が大分違いました。トイレに応じて掃除の仕方を変える必要を感じました。

もう一つは6月議会にある議員さんが「町会で年に2度一斉清掃をしているが、公共心の低下によって参加率が低下して住民自治の危機

だ」という質問をされるそうです。掃除と言えば副市長の宮之本ということので私とその答弁を任されることになりました。でも、木下さんが場を提供してくれているから私も掃除ができます。場を提供し続けていることによって参加したいという人も出てくるし、参加することによって掃除の意味も見いだされる。場を提供し続けることが住民自治の維持・向上につながることにになると議会で話そうと思っています。

「続ける」

木下代表 4ヶ月がかりで1階のトイレを全て掃除できました。緩やかな歩みですが、次回は2階のトイレを掃除できます。この人数だし、慌ててもしょうがないし、でもやる事が大事だと思えます。今回で208回となりましたが、これからも続けていきたいと思えますのでよろしくお願いします。

あとがき

「何かが違う」という教頭先生の言葉がずっと気になっていました。昨日、いつものように公園へ出かけると、私より先に近所の方が草取りをしていました。80代の方は朝4時半から草取りをされていたそうです。それを聞いて私の中でスイッチが入りました。予定していた範囲を終えても手が止まりません。近所さんが疲れている様子を見ると「あともう少し」と思いながら草取りをしました。「残りもう少し」がわかると俄然やる気が湧いてきました。気がつけば一時間半経っていました。私が気になる草を他の方も気にかけて下さることの嬉しさ、一緒になって草取りできることは大きな喜びです。そして、なんといつてもやり終えた後の達成感は一入では比べものになりません。私にとっての何かとは感動や感謝に誘発されるスイッチでした。

次回は7月9日(土) 6:00〜栗が丘小学校です。よろしく申し上げます。牛山 大輔 拝